交通コンサルタント
阿部等の 鉄道を活かそう！ 北海道の

第32回

宗谷本線の事業の抜本的な改善方策

（あべ・ひとし）1961年東京都生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業、修士修了、博士1年中退。88年にＪＲ東日本に1期生として入社し鉄道の実務と研究開発の経験を重ねた。2005年に退職して(株)ライトレールを創業。交通計画のコンサルティングに従事

国交大臣から監督命令2度

ＪＲ北海道は２０１６（平成28）年、宗谷本線を含む黄色８線区を「当社単独では維持困難」と発表した。

それを受け国交大臣は18年、ＪＲ北海道へ事業の適切かつ健全な運営に向け、23年度末までに事業の抜本的な改善方策を検討するよう監督命令した。

しかし、コロナ禍による利用激減もあり、抜本的な改善方策は検討に至らず、国交大臣は24年に再び、26年度末までに事業の抜本的な改善方策を確実にまとめるよう監督命令した。

増便こそが抜本的改善策

さる10月18日付北海道新聞の名寄・士別版に、筆者のインタビュー記事「宗谷線の抜本的利用促進策」が掲載された。第28回『リクエスト停車で低コストに増便』に書いたコスト増とならない実質増便策を中心に解説した。

道新記事

その際、第29回『宗谷本線をこんなに便利にできる』に掲載した提案のダイヤに関して、名寄以北での上下列車の行違いを精査したところ、今ある、あるいは最近まであった行違いできる箇所がちょうど良い配置だと分かった。

第29回のものでは名寄以北の最終列車が早過ぎたのを改め、名寄・士別付近の朝夕通学需要を配慮し、コストが過大とならないよう、新たな特急の２両と1両の使い分けを練った。

インタビュー後、ＪＲ北海道ＨＰに名寄以南の列車別乗車人員調査も掲載されていると気付き、今回は旭川近郊の朝夕の列車を増やした。

表と図のように、速達が名寄以南1時間おき、以北2時間おき、旭川近郊は普通が1時間おき、朝夕はさらに高頻度とする。現行よりずっと高利便だ。

速達は比布・士別・豊清水・雄信内・抜海でほぼロスタイムなく行違え、かつ旭川にて上下とも大半が札幌方面の特急と3分で乗継げる。同一ホームの特急と3分で乗継げる。同一ホーム対面として乗換えの苦をなくす。

必要な車両と乗務員は現行より少なくなる上、利用は大きく増えると自信を持って言える。

地元からＪＲ・道へ提案を

鉄道のダイヤは、利用者にとっては商品メニューであり、鉄道会社にとっては、それにより人員・設備・車両などが定まり、さらに売上を決する経営計画そのものと言える。

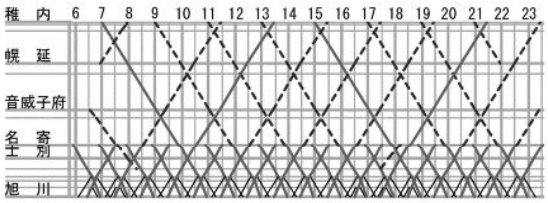
第29回以来、数カ月を掛けて様々な情報を集め、現地を見、思考に思考を重ねてここまで練り上げた。行違い箇所を新規に作らず（復活はあり）に実行できるとは、「実行しなさい」との神のお告げかと思うほどの幸運だ。

地元からＪＲや道庁へ提案して実現し、未来を開けることを願っている。

提案の時刻表 下りは夕方～着列車、上りは朝列車～朝、他の時間帯はダイヤを参照

0.0	旭川	発	1728	1808	1821	1828	1908	1928	2008	2028	2108	2128	2208	2228
9.3	永山	〃	レ	1820	1834	レ	1920	レ	2020	レ	2120	レ	2220	レ
17.1	比布	〃	1743	1830		1843	1930	1943	2030	2043	2130	2143	2230	2243
22.8	蘭留	〃	=	1836		=	1936	=	2036	=	2136	=	2236	=
36.3	和寒	〃	1759			1859		1959		2059		2159		2259
53.9	士別	発	1813			1913		2013		2113		2213		2313
		着	1832			1932		2032		2132		2232		2332
76.2	名寄	発	1834					2034				2234		
117.9	豊清水	〃	1913					2113				2313		
129.3	音威子府	〃	1924					2124				2324		
183.7	雄信内	〃	2013					2213						
199.4	幌延	〃	2028					2228						
245.0	抜海	〃	2113					2313						
256.7	南稚内	〃	2123					2323						
259.4	稚内	着	2127					2327						
0.0	稚内	発												659
2.7	南稚内	〃												703
14.4	抜海	〃												713
60.0	幌延	〃												758
75.7	雄信内	〃												813
130.1	音威子府	〃							634					902
141.5	豊清水	〃							647					913
		着							732					952
183.2	名寄	発		554			654		734	754		854		954
205.5	士別	〃		613			713		758	813		913		1013
223.1	和寒	〃		627			727		817	827		927		1027
236.6	蘭留	〃		=	649		=	749		=	849	=	949	=
242.3	比布	〃		643	655		743	755		843	855	943	955	1043
250.1	永山	〃	640	レ	705	740	レ	805		レ	905	レ	1005	レ
259.4	旭川	着	652	657	717	752	757	817		857	917	957	1017	1057

※太字は新たな特急（比布以南は無停車、以北はリクエスト停車）、他は普通
※新たな特急の増便は H100形１両、他はキハ261系２両。普通はH100形１両



太線は新たな特急のキハ261系２両、太破線はH100形１両、細線は普通のH100形１両。スジ(列車)とスジが交差する箇所で行違い（すれ違い）